

JFKL アイデア集 やじるしパネルの使い方

黒板に、いろいろな種類の絵パネルやら写真やら雑誌の切抜きやらを貼って授業すると、楽しいし効果的でもあります。さらにちょっとした工夫でもっと効果的になります。「やじるしパネル」はこの写真や絵パネルに、いろいろな意味をもたせることができる、とても便利な道具です。

「やじるし」というのは普通の矢印のことです。長さ 20 センチくらいで幅 5 センチくらいの矢印を紙に書いて切り取ります。矢印のふちを赤くすると、これは見やすくなります。後ろに磁石を貼り付けて、黒板に自由に貼れるようにすれば完成です。

磁石黒板がなくて困っておられる方でも、パネルの裏に何度かはったりはがしたりして、少し粘着力を落としたセロテープをはることで同じように使えます。

さて、これが何に使えるかですが、まず、「行きます、来ます、帰ります」を教えるときに使えます。行く人（主語）の絵パネルと行く先（場所）の絵パネルの間に矢印を置くことによって「〇〇さんは××へ行きます」という文が練習できます。

主語と場所の絵や写真をたくさん用意して、図1のように黒板の左側に人物のパネル、右側に場所のパネルを縦に何枚も貼っておき、矢印を上から下に移動させることで、たいへんテンポよく練習することができます。（矢印の移動がドリルのきっかけになります。）

図 1



またアメリカのトランプ大統領とブラジルの写真を使って「トランプさんはブラジルに行きます」の例文を練習した後で「ブラジル」の写真を「マレーシア」に変えると、自然に「トランプさんはマレーシアへ来ます」という例文になります。またこんどは「アメリカ」の写真に変えると「トランプさんはアメリカへ帰ります」を練習することができます。

このやじるしパネルは、「あげます、もらいます、くれます」の練習にも使えます。2枚の人物の絵や写真の間にやじるしパネルを貼ります。やじるしパネルの上にプレゼントの絵を貼ると「トランプさんはあべさんにプレゼントをあげます」という例文になります（図2）。これは「あべさんはトランプさんにプレゼントをもらいます」という例文でもあります。またあべさんの絵パネルを「わたし」の絵パネルに変えると「トランプはわたしにプレゼントをくれます。」も練習できます。

プレゼントの絵はいろいろなものに変えることができます。「日本語」にすれば「日本語を教えてください」という例文にもなります。

図2



図3



やじるしパネルはこのように方向性のある例文を絵や写真で作るのに便利です。ほかにも「トランプさんはあべさんに手紙を書きます」、「トランプさんはあべさんに電話をかけます」（図3）、「トランプさんはあべさんに荷物を送ります」などの例文を作ることができます。

黒板に絵パネルとやじるしパネルで例文を作り出し、それを見て生徒が大きな声で練習する姿は微笑ましいですね。